

(様式第9)

弘大病経第231号
平成23年10月4日

東北厚生局长殿

弘前大学医学部附属病院長
花田勝

弘前大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | |
|--------|--------|
| 研修医の人数 | 145.3人 |
|--------|--------|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|-----|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 304人 | 2人 | 304.2人 | 看護補助者 | 22人 | 診療エックス線技師 | 人 |
| 歯科医師 | 12人 | 0人 | 12.0人 | 理学療法士 | 7人 | 臨床検査技師 | 41人 |
| 薬剤師 | 22人 | 0人 | 22.0人 | 作業療法士 | 3人 | 衛生検査技師 | 人 |
| 保健師 | 人 | 人 | 人 | 視能訓練士 | 2人 | 歯科その他の | 人 |
| 助産師 | 22人 | 1人 | 22.7人 | 義肢装具士 | 人 | あん摩マッサージ指圧師 | 人 |
| 看護師 | 511人 | 16人 | 523.3人 | 臨床工学技士 | 7人 | 医療社会事業従事者 | 3人 |
| 准看護師 | 人 | 人 | 人 | 栄養士 | 人 | その他の技術員 | 10人 |
| 歯科衛生士 | 人 | 2人 | 1.3人 | 歯科技工士 | 1人 | 事務職員 | 123人 |
| 管理栄養士 | 4人 | 0人 | 4.0人 | 診療放射線技師 | 30人 | その他の職員 | 21人 |

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|--------|--------|---------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 501人 | 9.2人 | 510.2人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,440人 | 51.9人 | 1491.9人 |
| 1日当たり平均調剤数 | | 792.1剤 | |

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|----------------------|-------|
| インプラント義歯 | 4人 |
| 超音波骨折治療法 | 0人 |
| 内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術 | 19人 |
| 内視鏡的大腸粘膜剥離術 | 14人 |
| 肝切除手術における画像支援ナビゲーション | 0人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類 | 取扱患者数 |
|---------|-------|
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |
| | 人 |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

| | | | |
|-----------|--|-------|---|
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾 患 名 | 取扱患者数 | 疾 患 名 | 取扱患者数 |
|---|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病 | 86人 | ・膿疱性乾癥 | 5人 |
| ・多発性硬化症 | 57人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 2人 |
| ・重症筋無力症 | 59人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 34人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 194人 | ・重症急性胰炎 | 2人 |
| ・スモン | 1人 | ・特発性大腿骨頭壞死症 | 77人 |
| ・再生不良性貧血 | 33人 | ・混合性結合組織病 | 16人 |
| ・サルコイドーシス | 75人 | ・原発性免疫不全症候群 | 1人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 23人 | ・特発性間質性肺炎 | 4人 |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 109人 | ・網膜色素変性症 | 54人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 36人 | ・プリオント病 | 0人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 20人 | ・肺動脈性肺高血圧症 | 5人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 217人 | ・神経線維腫症 | 20人 |
| ・大動脈炎症候群 | 21人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 0人 |
| ・ビュルガー病 | 16人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 0人 |
| ・天疱瘡 | 16人 | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 3人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 52人 | ・ライソゾーム病 | 1人 |
| ・クローン病 | 119人 | ・副腎白質ジストロフィー | 1人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 1人 | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 0人 |
| ・悪性関節リウマチ | 16人 | ・脊髄性筋萎縮症 | 0人 |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 177人 | ・球脊髄性筋萎縮症 | 5人 |
| | | ・慢性炎症性脱髓性多発神経炎 | 11人 |
| ・アミロイドーシス | 5人 | ・肥大型心筋症 | 2人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 77人 | ・拘束型心筋症 | 0人 |
| ・ハンチントン病 | 0人 | ・ミトコンドリア病 | 1人 |
| ・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症) | 12人 | ・リンパ脈管筋腫症(LAM) | 0人 |
| ・ウェグナー肉芽腫症 | 5人 | ・重症多形滲出性紅斑(急性期) | 0人 |
| ・特発性拡張型(うつ血型)心筋症 | 27人 | ・黄色靭帯骨化症 | 0人 |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オーリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 21人 | ・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 119人 |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 7人 | | |

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類 | 施設基準等の種類 |
|-------------------|----------|
| ・眼底三次元画像解析 | ・ |
| ・歯周組織再生誘導法 | ・ |
| ・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断 | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

| | |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | ・消化器(内科・外科)病理合同カンファレンス週1回 ・泌尿器・病理合同カンファレンス週1回 ・細胞診カンファレンス月2回 ・脳神経外科・病理合同カンファレンス月1回 ・婦人科・病理合同カンファレンス月1回 ・呼吸器・病理合同カンファレンス週1回 |
| 部 検 の 状 況 | 部検症例数 28 例 / 部検率 12.12% |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-----------------|-----------|---------------|
| 肺がん幹細胞分離・解析と治療法開発 | 西條 康夫 | 腫瘍内科学 | 3,800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| GATA1遺伝子変異による一過性白血病の分子機構の解明と分子標的療法の開発 | 伊藤 悅朗 | 小児科学 | 4,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| VII型コラーゲン遺伝子改変マウスによる栄養障害型と後天性表皮水疱症の新規モデル | 澤村 大輔 | 皮膚科学 | 3,700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 前立腺特異抗原を凌駕する糖鎖標的前立腺癌診断ツールの開発と臨床応用 | 大山 力 | 泌尿器科学 | 3,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| Lipid raftによるOHC細胞骨格制御機構－聴覚における脂質の機能解明－ | 欠畠 誠治 | 耳鼻咽喉科学 | 6,900,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 多囊胞性卵巣症候群の新たな病因の解明－胎生期における性腺細胞の分化異常 | 藤井 俊策 | 産科婦人科学 | 4,500,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 加齢及び麻酔関連睡眠障害の機序とその治療に関する研究 | 廣田 和美 | 麻酔科学 | 3,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| シスプラチニン誘発ラット急性腎不全モデルに対する脂肪酸乳剤の効果に関する研究 | 中村 典雄 | 循環器・呼吸器・腎臓内科 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 膵性糖尿病における重症低血糖回避のための新規検査・治療法の確立 | 丹藤 雄介 | 内分泌・糖尿病代謝・感染症内科 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 神経変性疾患のリピドラフト病因蛋白オリゴマーを標的にした治療法の開発 | 瓦林 耕 | 神経内科 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 変異senataxinによるAOA2の発症機序解明と疾患モデルへの展開 | 渡辺 光法 | 神経内科 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ヒト末梢血RNAを用いた電気けいれん療法の作用機序の検討 | 菊池 淳宏 | 神経科精神科 | 1,600,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ダウン症候群の一過性骨髓増殖性疾患と急性巨核球性白血病における細胞増殖機構の解明 | 照井 君典 | 小児科 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| BACH1トランスジェニックマウスを用いた骨髓線維症の分子標的療法の開発 | 佐々木 伸也 | 小児科 | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 間葉系幹細胞を用いた移植免疫操作の開発と応用 | 鳴海 俊治 | 消化器・乳腺・甲状腺外科 | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 薬物感受性判定を目指した乳がん細胞発現蛋白検索法開発 | 小田桐 弘毅 | 消化器・乳腺・甲状腺外科 | 1,200,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 上行性賦活系を応用した麻酔覚醒機序の検討:速やかな覚醒と穏やかな回復を目指して | 柳方 哲也 | 麻酔科 | 700,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 分子標的治療薬とプロティオグリカンによるグリオーマ細胞吸着療法の開発 | 浅野 研一郎 | 脳神経外科 | 1,000,000 | 補委 日本学術振興会 |
| プロテオグリカンで切迫早産を治療しよう | 田中 幹二 | 周産母子センター | 1,300,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 皮膚有棘細胞癌におけるRafキナーゼ抑制蛋白の抗腫瘍効果解析と、治療的応用の検討 | 六戸 大樹 | 高度救命救急センター | 1,100,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ナノニードルを用いる皮膚を標的とする効率的な薬剤供給戦略 | 花田 勝美 | 附属病院長 | 1,400,000 | 補委 日本学術振興会 |
| 新規昇圧物質カップリングファクター6による血管傷害性の評価と創薬への活用 | 長内 智宏 | 循環呼吸腎臓内科学 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |
| ナノパーティクルBCGによる副作用のない膀胱療法の開発 | 盛 和行 | 泌尿器科 | 800,000 | 補委 日本学術振興会 |

小計 23件

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|-----------------|-----------|----------|
| 糖尿病性腎症感受性遺伝子マーカーとしてのSLC12A3遺伝子多型の意義 | 保嶋 実 | 検査部 | 700,000 | 補委 |
| 冠嚙縮性狭心症の成因に関する臨床分子生物学的研究:P122蛋白の役割 | 奥村 謙 | 循環呼吸腎臓内科学 | 500,000 | 補委 |
| 生物学的手法による児童思春期精神病前駆状態と発達障害の鑑別とその介入について | 斉藤 まなぶ | 神経精神医学 | 1,300,000 | 補委 |
| 乳児急性骨髓性白血病における新規クラス1遺伝子変異の単離 | 土岐 力 | 小児科学 | 1,000,000 | 補委 |
| 大腸癌肝転移に対する合理的集学的治療体系の確立に関する基礎研究 | 袴田 健一 | 消化器外科学 | 1,100,000 | 補委 |
| 大腸癌の浸潤および転移ヒアルロン酸との関連性～大腸癌の再発ゼロを目指して～ | 村田 晓彦 | 消化器外科学 | 1,200,000 | 補委 |
| 変形性膝関節症および膝前十字靱帯の発生要因および予防に関する疫学的研究 | 石橋 栄之 | 整形外科学 | 100,000 | 補委 |
| 真皮線維芽細胞からアプローチする毛髪異常疾患の原因究明 | 中野 創 | 皮膚科学 | 900,000 | 補委 |
| 上皮一間葉転換(EMT)誘導による新しい創傷治療戦略の開発 | 会津 隆幸 | 皮膚科学 | 1,200,000 | 補委 |
| 癌細胞表面に発現した分枝型O-グリカンによる宿主免疫逃避機構の解明 | 坪井 滋 | 泌尿器科学 | 1,500,000 | 補委 |
| 網膜色素変性の臨床像におよぼす加齢黄斑変性関連遺伝子多型の影響 | 中澤 満 | 眼科学 | 1,000,000 | 補委 |
| 大規模調査による聽覚障害の関連因子の解明 | 新川 秀一 | 耳鼻咽喉科学 | 1,600,000 | 補委 |
| 好酸球性中耳炎の病態解明と治療戦略確立の新しい展開 | 松原 篤 | 耳鼻咽喉科学 | 1,000,000 | 補委 |
| 卵巣癌に対する新規抗腫瘍剤開発のための基礎的研究 | 横山 良仁 | 産科婦人科学 | 700,000 | 補委 |
| 重症小児患者の体液管理のための低侵襲体液量評価法の開発 | 石原 弘規 | 麻酔科学 | 800,000 | 補委 |
| 最新睡眠科学による全身麻酔機序の解明:安全な麻醉と麻酔後QOL向上のために | 吉田 仁 | 救急・災害医学 | 500,000 | 補委 |
| 糖尿病多発神経障害における表皮内神経線維脱落の進行様式と分子機構の解明 | 杉本 一博 | 臨床検査医学 | 1,400,000 | 補委 |
| 新規昇圧物質カッピングファクター6の心肥大・心不全病態形成の役割 | 佐々木 真吾 | 不整脈先進治療学 | 100,000 | 補委 |
| 食品機能成分の体内動態特性に基づく薬剤性肺障害の予防 | 板垣 史郎 | 薬剤部 | 4,100,000 | 補委 |
| ラット水浸拘束ストレスモデルにおけるSSRI, SNRIの大腸運動への効果 | 佐藤 研 | 消化器・血液・膠原病内科 | 900,000 | 補委 |
| HDLリポ蛋白の総合的機能解析と2型糖尿病患者への臨床応用 | 田辺 壽太郎 | 内分泌・糖尿病代謝・感染症内科 | 800,000 | 補委 |
| 新規生理活性ペプチドQRFPのH-P-Aaxisへの関与 | 高安 忍 | 内分泌・糖尿病代謝・感染症内科 | 500,000 | 補委 |
| 抗精神病薬による性機能障害の実態調査と脆弱性因子の解明 | 藤井 学 | 神経科精神科 | 1,500,000 | 補委 |
| 悪性黒色腫に対するRT-LAMP法を用いた超迅速センチネルリンパ節微小転移診断 | 金子 高英 | 皮膚科 | 1,600,000 | 補委 |
| 新規ウイルスセンサーを標的とするメノーマの画期的治療法の開発 | 松崎 康司 | 皮膚科 | 1,400,000 | 補委 |
| バビヨン・ルフェーブル症候群表皮細胞におけるセリプロテアーゼの活性化障害 | 滝吉 典子 | 皮膚科 | 1,900,000 | 補委 |

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|----------------|--------------------|------------|---------------------------|
| 女性における膀胱全摘除術後のQOL向上させる新膀胱造設術の確立と排尿機序の解明 | 古家 塚也 | 泌尿器科 | 1,800,000 | 補委 文部科学省 |
| 視細胞変性へのカルバインの関与とその制御による新しい視細胞保護治療法の可能性 | 目時 友美 | 眼科 | 1,600,000 | 補委 文部科学省 |
| TS遺伝子抑制による頭頸部腺様囊胞癌の抗癌剤感受性の獲得 | 白崎 隆 | 耳鼻咽喉科 | 1,100,000 | 補委 文部科学省 |
| GJB2遺伝子変異保因率に関する大規模研究 | 南場 淳司 | 耳鼻咽喉科 | 1,900,000 | 補委 文部科学省 |
| マウス蝸牛外有毛細胞におけるプレスタンの発現とその機能に関する検討 | 阿部 尚央 | 耳鼻咽喉科 | 1,500,000 | 補委 文部科学省 |
| 妊娠の成立と維持に関する子宮内膜および全身におけるNK細胞の機能分担と機能発現 | 福井 淳史 | 産科婦人科 | 1,200,000 | 補委 文部科学省 |
| 新規遺伝子RIG-Iを用いた細胞周期制御による新たな癌治療法の開発 | 榎 宏剛 | 歯科口腔外科 | 1,700,000 | 補委 文部科学省 |
| 口腔癌におけるPDTの革新的治療法・基礎的研究 | 中川 祥 | 歯科口腔外科 | 1,000,000 | 補委 文部科学省 |
| 上皮一間葉転換のマスター転写因子による基底膜蛋白の発現調節 | 中島 康爾 | 皮膚科学 | 1,200,000 | 補委 文部科学省 |
| イソプロピルウノプロストンの視細胞保護効果に関する研究 | 伊藤 忠 | 眼科学 | 1,600,000 | 補委 文部科学省 |
| 抗TNF-α抗体を用いた新しい内耳治療戦略 | 二井 一則 | 耳鼻咽喉科学 | 1,600,000 | 補委 文部科学省 |
| 新規Aβオリゴマー分解酵素によるアルツハイマー病発症病態・神経変性機構の解明 | 松原 悅朗 | 脳神経内科学 | 1,200,000 | 日本学術振興会 |
| iPS細胞における肺細胞誘導遺伝子同定と肺細胞分化誘導の試み | 西條 康夫 | 腫瘍内科学 | 1,500,000 | 日本学術振興会 |
| Prestin翻訳後修飾機構の解明—OHC運動能自己修復による内耳再生への挑戦— | 欠畑 誠治 | 耳鼻咽喉科学 | 1,500,000 | 日本学術振興会 |
| 更年期障害に対する加味道遥散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験 | 水沼 英樹 | 産科婦人科学 | 30,000,000 | 補委 厚生労働省 |
| 先天性赤芽球溼(Diamond Blackfan貧血)の効果的診断法の確立に関する研究 | 伊藤 悅朗 | 小児科学 | 15,000,000 | 補委 厚生労働省 |
| 血液、尿等、生体への侵襲が少ないバイオマーカーを用いた診断方法に関する研究 | 松原 悅朗 | 脳神経内科学 | 14,170,000 | 補委 厚生労働省 |
| てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究 | 兼子 直 | 神経精神医学講座 | 2,500,000 | 補委 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター |
| てんかんにおける遺伝子診断ツールの開発 | 兼子 直 | 神経精神医学講座 | 1,300,000 | 補委 独立行政法人 科学技術振興機構 |
| 高齢者の健康及び疾病状態の把握の新たなマーカー(遺伝子・蛋白等)の探索と分析に関する研究 | 松原 悅朗 | 脳神経内科学講座 | 2,000,000 | 補委 独立行政法人 国立長寿医療研究センター |
| 放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究 | 成田 雄一郎 | 放射線科学講座 | 500,000 | 補委 独立行政法人 国立がん研究センター |
| 周産期医療従事者増加に係る調査研究 | 水沼 英樹 伊藤 悅朗 | 産科婦人科学講座 小児科学講座 | 20,000,000 | 補委 青森県 |
| 小児がん等がん調査に関するデータの集計・解析等 | 伊藤 悅朗 | 小児科学講座 | 3,000,000 | 補委 青森県 |
| 先天性副腎過形成症マス・スクリーニング検査 | 伊藤 悅朗 | 小児科学講座 | 6,479,000 | 補委 青森県 |
| 先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニング検査 | 伊藤 悅朗 | 小児科学講座 | 6,935,000 | 補委 青森県 |

小計 25件
合計 74件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------------------------|-----------------------|
| Annals of Nuclear Medicine(0914-7187)24巻8号 Page601-608(2010.10) | 下肢悪性皮膚新生物の日本人患者におけるセンチネルリンパ節マッピングのためのリンパシンチグラフィ 日本人のリンパ管解剖に関する過去の調査結果との比較(Lymphoscintigraphy for sentinel lymph node mapping in Japanese patients with malignant skin neoplasms of the lower extremities)(英語) | MiuraHiroyuki ほか | 弘前大学 医学研究科放射線科学 |
| Audiology Japan(0303-8106)54巻1号 Page70-77(2011.02) | ASSR検査を用いた労災認定時の詐聴診断 | 南場淳司 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科耳鼻咽喉科学講座 |
| Biomedical Research(0388-6107)31巻2号 Page105-112(2010.04) | 食道扁平上皮癌のビメンチン発現と、そのリンパ節転移に対する侵襲潜在性(Vimentin expression of esophageal squamous cell carcinoma and its aggressive potential for lymph node metastasis)(英語) | JinHiroyuki ほか | 弘前大学 医学研究科腫瘍病理学 |
| Cancer Science(1347-9032)101巻4号 Page869-875(2010.04) | ラットでのclofibrate誘導性肝細胞癌発生時に見られるhistoneアセチル化とsteroid receptor coactivatorの発現(Histone acetylation and steroid receptor coactivator expression during clofibrate-induced rat hepatocarcinogenesis)(英語) | AsanoJumpei ほか | 弘前大学 医学研究科ゲノム生化学 |
| Cancer Science(1347-9032)101巻5号 Page1093-1098(2010.05) | S-トランスフェラーゼA4はクロフィブレートおよび遺伝毒性発癌物質によるラットの肝病変の陽性マークーである(Glutathione S-transferase A4 is a positive marker for rat hepatic foci induced by clofibrate and genotoxic carcinogens)(英語) | ShimizuTakeshi ほか | 弘前大学 医学研究科ゲノム生化学講座 |
| Endocrine Journal(0918-8959)57巻4号 Page331-337(2010.04) | クッシング症候群の診断における血漿中、唾液中、尿中cortisol値測定(Evaluation of Plasma, Salivary, and Urinary Cortisol Levels for Diagnosis of Cushing's Syndrome)(英語) | SakiharaSatoru ほか | 弘前大学 医学研究科内分泌代謝内科講座 |
| Heart and Vessels(0910-8327)25巻6号 Page460-468(2010.11) | 急性心筋梗塞患者におけるテルミサルタンの心室リモデリングマーカーに対する作用 エナラプリルとの比較(Effects of telmisartan on markers of ventricular remodeling in patients with acute myocardial infarction: comparison with enalapril)(英語) | YokotaTakashi ほか | 弘前大学 循環器科 |
| Hip Joint(0389-3634)36巻 Page19-23(2010.10) | 特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術と血管柄付き腸骨移植術の合併手術その適応と限界 | 中村吉秀 ほか | 弘前大学 整形外科 |
| Hip Joint(0389-3634)36巻 Page466-470(2010.10) | 寛骨臼回転骨切り術の長期成績 | 三井博正 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科整形外科 |
| Hip Joint(0389-3634)36巻 Page624-626(2010.10) | カスタムメイドシステムを使用した大腿骨頸部骨折の1例 | 大石裕誉 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科整形外科 |
| Internal Medicine(0918-2918)49巻14号 Page1321-1323(2010.07) | 血中にC型肝炎ウイルスが存在しないC型肝炎ウイルス関連糸球体腎炎の臨床病理学的研究(Clinicopathological Study on Hepatitis C Virus-associated Glomerulonephritis without Hepatitis C Virus in the Blood)(英語) | YamabeHideaki ほか | 弘前大学 大学院医学研究科腎臓病態内科学 |
| Internal Medicine(0918-2918)49巻22号 Page2409-2414(2010.11) | 本州最北県である青森県における常染色体優性小脳性運動失調の有病率(Prevalence of Autosomal Dominant Cerebellar Ataxia in Aomori, the Northernmost Prefecture of Honshu, Japan)(英語) | Yamamoto-WatanabeYukiko ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経内科学講座 |
| IVR: Interventional Radiology(1340-4520)25巻4号 Page483-486(2010.10) | IVR INTERVENTIONAL RADIOLOGY ダメージコントロールとしての経カテーテル的動脈塞栓術が有用であった外傷性腋窩動脈破裂の1例 | 森本公平 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科放射線科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------------|-----------------------------------|
| Japanese Journal of Infectious Diseases(1344-6304)63巻3号 Page188-191(2010.05) | 筋骨格系組織のマイコバクテリア感染症 16S rDNAのPCR直接配列による原因種同定のための病理組織標本の利用(Mycobacterial Infection of the Musculoskeletal Tissues: the Use of Pathological Specimens for Identification of Causative Species by PCR-Direct Sequencing of | NakanoNoriyuki ほか | 弘前大学 医学研究科病態病理学 |
| JOSKAS(1884-8842)35巻3号 Page691-695(2010.05) | 小学校高学年におけるジャンプ着地動作中の動的下肢アライメントの変化 | 木村由佳 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科整形外科学講座 |
| Journal of Anesthesia(0913-8668)24巻4号 Page653-655(2010.08) | 小児患者におけるリアルタイム超音波ガイド下内頸静脈内挿管の時間消費リスク 従来の2種の技法との比較(Time-consumption risk of real-time ultrasound-guided internal jugular vein cannulation in pediatric patients: comparison with two conventional techniques)(英語) | YoshidaHitoshi ほか | 弘前大学 医学研究科麻酔科学講座 |
| Journal of Atherosclerosis and Thrombosis(1340-3478)17巻11号 Page1183-1189(2010.11) | Insulinは、neutral cholestryler ester hydrolaseおよびATP-binding cassette transporter G1発現の阻害により、HDLが介在するマクロファージからのcholesterol流出を抑制する(Insulin Suppresses HDL-Mediated Cholesterol Efflux from Macrophages Through Inhibition of Neutral | YamashitaMaki ほか | 弘前大学 大学院医学研究科内分泌代謝内科学 |
| Journal of Cardiology(0914-5087)56巻3号 Page354-360(2010.11) | 血管痙攣性狭心症患者の長時間作用型nifedipine CRおよびdiltiazem Rの効果の比較 青森冠痙攣性狭心症研究(Comparison of the effects of long-acting nifedipine CR and diltiazem R in patients with vasospastic angina: Aomori coronary spastic angina study)(英語) | HigumaTakumi ほか | 弘前大学 医学研究科循環病態内科学 |
| Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences(1868-6974)17巻3号 Page345-348(2010.05) | 胆胆管合流異常の小児症例における胆嚢壁厚の超音波による描出(Sonographic demonstration of wall thickness of the gallbladder in pediatric patients with pancreatico-biliary maljunction)(英語) | SugaiMichihiro ほか | 弘前大学 医学部小児外科学 |
| Journal of Orthopaedic Science(0949-2658)15巻3号 Page299-304(2010.05) | キアリ型奇形を合併した脊髄空洞症に対する大後頭孔減圧術の転帰 空洞の位置と身体痛との関連性(Surgical outcomes of foramen magnum decompression for syringomyelia associated with Chiari I malformation: relation between the location of the syrinx and body pain)(英語) | OnoAtsushi ほか | 弘前大学 整形外科学 |
| Journal of Spine Research(1884-7137)1巻10号 Page1847-1852(2010.10) | 腰椎損傷に対する椎弓根スクリューを用いたposterior fixation without fusionの治療経験 | 和田簡一郎 ほか | 弘前大学 医学部整形外科 |
| Journal of Spine Research(1884-7137)1巻11号 Page1942-1946(2010.11) | 特発性側弯症に対する非侵襲的体表計測法を用いた脊柱矢状面alignmentの評価 | 和田簡一郎 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科整形外科学講座 |
| Modern Physician(0913-7963)30巻臨時増刊号 Page42-45(2010.10) | 【肺高血圧症の臨床における最新薬物治療】膠原病専門医が診る肺高血圧症 多発性筋炎とともに間質性肺炎に併存した肺高血圧症の1例 | 櫻庭裕丈 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科消化器血液内科学講座 |
| Neurologia medico-chirurgica(0470-8105)50巻12号 Page1095-1098(2010.12) | 解離動脈の外径拡張 反復MR脳構造撮影法により評価された急性両側前大脳動脈解離 症例報告(Dilated Outer Diameter of the Dissected Artery: Acute Bilateral Anterior Cerebral Artery Dissection Evaluated by Repeat Magnetic Resonance Cisternography: Case Report)(英語) | NagahataMorio ほか | 弘前大学 医学研究科放射線科学 |
| NEUROPATHOLOGY(0919-6544)30巻2号 Page149-153(2010.04) | 淡蒼球黒質リドイ体変性を伴う孤発性の筋萎縮性側索硬化症 TDP-43免疫組織化学研究(Sporadic amyotrophic lateral sclerosis with pallido-nigro-luysian degeneration: A TDP-43 immunohistochemical study)(英語) | MikiYasuo ほか | 弘前大学 大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設 分子病態部門 |
| NEUROPATHOLOGY(0919-6544)30巻6号 Page648-653(2010.12) | 無症候の成人における好酸性ニューロン細胞質内封入体の広範囲発生 新規ユビキチン陰性細線維状封入体(Widespread occurrence of eosinophilic neuronal cytoplasmic inclusions in an asymptomatic adult: A novel ubiquitin-negative filamentous inclusion)(英語) | MoriFumiaki ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経病理学 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|--------------------|-----------------------------|
| Neuroscience Research(0168-0102)68巻4号 Page322-328(2010.12) | ryanodine受容体に関連した神経伝達に及ぼすバルプロ酸の作用(Effects of valproate on neurotransmission associated with ryanodine receptors)(英語) | YoshidaShukuko ほか | 弘前大学 医学研究科神経精神医学 |
| Neurosurgical Emergency(1342-6214)15巻2号 Page116-121(2011.01) | 高齢者くも膜下出血に対する集学的治療 より優れた転帰を得るために | 鳴村則人 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科脳神経外科 |
| Osteoporosis Japan(0919-6307)18巻3号 Page508-510(2010.07) | 妊娠中の骨量・骨代謝マーカーの変化について | 谷口綾亮 ほか | 弘前大学 医学部産婦人科教室, |
| Progress in Medicine(0287-3648)31巻1号 Page299-301(2011.01) | 症候性左中大脳動脈狭窄に対するシロスター(プレタール)の使用経験 | 鳴村則人 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科脳神経外科学講座 |
| Psychiatry and Clinical Neurosciences(1323-1316)64巻2号 Page141-148(2010.04) | 慢性統合失調症における樹木描画試験の特徴 (Characteristics of the tree-drawing test in chronic schizophrenia)(英語) | KanedaAyako ほか | 弘前大学 医学研究科神経精神医学 |
| Psychiatry and Clinical Neurosciences(1323-1316)64巻2号 Page196-198(2010.04) | 健常日本人被験者におけるtyrosine hydroxylase 多型と性格的特性間の無関連性(No association between polymorphism in tyrosine hydroxylase and personality traits in healthy Japanese subjects)(英語) | TsuchimineShoko ほか | 弘前大学 医学研究科神経精神医学 |
| Surgery Frontier(1340-5594)17巻4号 Page413-418(2010.12) | What's New in protease inhibitor 悪性胸膜中皮腫のuPA、PAI-1産生とプロテアーゼインヒビター | 木村大輔 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| あたらしい眼科(0910-1810)27巻7号 Page967-969(2010.07) | タフルプロスト片眼トライアルによる短期眼圧下降効果 | 宮川靖博 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科眼科学講座 |
| あたらしい眼科(0910-1810)27巻8号 Page1123-1126(2010.08) | トラボプロスト点眼液の点状表層角膜症に対する影響 | 山崎仁志 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科眼科学講座 |
| 医療薬学(1346-342X)36巻8号 Page592-598(2010.08) | モンテカルロシミュレーションを用いた肺炎球菌感染が疑われる高齢者におけるレボフロキサシン適正用量の検討 | 岡村祐嗣 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 薬剤部 |
| 外科(0016-593X)72巻10号 Page1092-1095(2010.10) | 原発巣切除を施行した大腸癌同時性肝転移例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 外科(0016-593X)72巻13号 Page1547-1551(2010.12) | Stage II大腸癌の再発危険因子の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 外科(0016-593X)72巻7号 Page757-761(2010.07) | 両側乳癌症例の臨床病理学的検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院胸部心臓血管外科 |
| 外科(0016-593X)72巻7号 Page766-769(2010.07) | 食道癌術後経過中に発生した多発早期胃管癌の1例 | 宮本慶一 ほか | 弘前大学 消化器外科 |
| 外科(0016-593X)72巻9号 Page971-975(2010.09) | 大腸多発癌に関する臨床的検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 外科(0016-593X)73巻3号 Page291-295(2011.03) | 急性虫垂炎の発症および重症度と気象因子との関連性の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院胸部心臓血管外科 |
| 緩和ケア(1349-7138)21巻1号 Page108-112(2011.01) | 骨盤腫瘍に起因する痛みをオピオイドスイッチと各種鎮痛補助薬の併用により迅速に完全除去した1症例 | 佐藤哲観 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 麻酔科・緩和ケアチーム |
| 癌と化学療法(0385-0684)37巻10号 Page1937-1940(2010.10) | S-1とDocetaxel静注併用放射線療法が著効した高齢者頸下腺癌の1例 | 久保田耕世 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科医科学専攻歯科口腔外科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|----------|---------------------------|
| 癌と化学療法(0385-0684)37巻4号 Page671-675(2010.04) | 携帯型インフューザーポンプを使用した5-FU持続投与コンプライアンスの調査 | 佐藤淳也 ほか | 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 |
| 癌と化学療法(0385-0684)37巻6号 Page1069-1073(2010.06) | 切除不能進行・再発大腸癌に対する二次治療としてのBevacizumab併用化学療法 | 小山基 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科・消化器外科学講座 |
| 癌と化学療法(0385-0684)37巻8号 Page1579-1582(2010.08) | セカンドライン化学療法(CPT-11+CDDP)が奏効した胃腺扁平上皮癌の1例 | 石黒敦 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科腫瘍内科 |
| 癌と化学療法(0385-0684)37巻9号 Page1753-1757(2010.09) | 抗癌剤調製トレーニングキットを使用した閉鎖系システム使用感の評価 | 佐藤淳也 ほか | 弘前大学医学部附属病院 薬剤部 |
| 癌の臨床(0021-4949)56巻1号 Page53-56(2010.09) | 肺腺癌の術前FDG-PET検査における原発巣 SUVmaxの臨床病理学的検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| 胸部外科(0021-5252)63巻4号 Page340-343(2010.04) | 前立腺癌肺転移の1例 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 胸部外科(0021-5252)63巻5号 Page360-363(2010.05) | 心膜合併切除・左房合併切除を伴う肺癌手術例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 胸部外科(0021-5252)63巻6号 Page446-448(2010.06) | 若年者の自然気胸発症における気象要因の関連性 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 胸部外科(0021-5252)63巻9号 Page818-821(2010.08) | Sjögren症候群に合併した多発肺アミロイドーシス | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 形成外科(0021-5228)53巻7号 Page803-806(2010.07) | 自動車用バッテリーから指輪に通電し熱傷を受傷した1例 | 齊藤真喜子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科形成外科 |
| 呼吸器ケア(1347-7285)9巻3号 Page325-332(2011.03) | 90°側臥位の体位ドレナージが有効であった2症例 導入時期の検討と背景因子についての一考察 | 桂畠隆 ほか | 弘前大学医学部附属病院 集中治療部 |
| 弘前医学(0439-1721)61巻2-4 Page104-113(2011.01) | 東北・北海道の労働者の抑うつ度に及ぼす社会労働環境因子の検討 | 大久保愉一 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61巻2-4 Page114-121(2011.01) | 呼吸同期4D-CTを用いた肺癌に対する体幹部定位放射線治療計画における4次元的線量計算の検討 | 川口英夫 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科放射線科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61巻2-4 Page131-137(2011.01) | 日本人女性における年代別の各種肥満指標と上腕・足首脈波伝播速度との関連(RELATIONSHIP BETWEEN VARIOUS OBESITY INDICES AND BRACHIAL-ANKLE PULSE WAVE VELOCITY ACCORDING TO AGE AMONG JAPANESE FEMALES)(英語) | 沼澤さとみ ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61巻2-4 Page138-149(2011.01) | 男子柔道選手の強化合宿におけるビタミンCサプリメントが好中球機能に及ぼす影響(EFFECT OF VITAMIN C SUPPLEMENTATION ON NEUTROPHIL FUNCTION IN MALE JUDOISTS DURING A TRAINING CAMP)(英語) | 山居聖典 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61巻2-4 Page150-158(2011.01) | Cre/loxPシステムを利用したアデノウイルス二重感染法による自殺遺伝子誘導(THE SUICIDE GENE INTRODUCTION USING TWO RECOMBINANT ADENOVIRUS VECTORS WITH HER2 PROMOTER AND Cre/loxP SYSTEM)(英語) | 丸山将輝 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器外科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|----------------------|----------------------|
| 弘前医学(0439-1721)61 巻2-4 Page159-162(2011.01) | 大量出血を呈した子宮破裂合併帝王切開術において回収式自己血を用いた1例(BLOOD SALVAGE MANAGED A CRITICAL HEMORRHAGE DURING CESAREAN SECTION WITH UTERINE RUPTURE ACCOMPANIED WITH PLACENTA ACCRETA)(英語) | 川口陽子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻2-4 Page87-96(2011.01) | 大学柔道部新入部員の最初のトレーニングが心身のコンディションに及ぼす影響(EFFECTS OF THE FIRST TRAINING SESSION ON THE PHYSIOLOGICAL AND MENTAL CONDITIONS IN MALE UNIVERSITY FRESHMEN JUDOISTS)(英語) | 李相潤 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻2-4 Page97-103(2011.01) | 機能的糖鎖の変化からみた骨粗鬆症病態の解明(ANALYSIS OF FUNCTIONAL SUGAR CHAINS OF PROTEOGLYCANS IN THE URINE FROM WOMEN WITH OSTEOPOROSIS)(英語) | 阿部和弘 ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科教室 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS135-S141(2010.07) | アルツハイマー病患者と健常対照の血漿中のA β 40およびA β 42に対する抗体(PLASMA ANTIBODIES TO AB40 AND AB42 IN PATIENTS WITH ALZHEIMER'S DISEASE AND NORMAL CONTROLS)(英語) | ShojiMikio | 弘前大学 医学研究科脳神経内科学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS142-S146(2010.07) | 新しいラット中大脳動脈結紮モデル 外頸動脈温存を併用した経大腿動脈アプローチ(NOVEL RAT MIDDLE CEREBRAL ARTERY OCCLUSION MODEL: TRANS-FEMORAL ARTERY APPROACH COMBINED WITH PRESERVATION OF THE EXTERNAL CAROTID ARTERY)(英語) | ShimamuraNorihito ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経外科学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS197-S203(2010.07) | フリーラジカル反応に対するフリーラジカル消去剤エダラボンの作用 ウサギクモ膜下出血モデルにおける関連シグナル伝達および脳血管攣縮(EFFECT OF A FREE RADICAL SCAVENGER, EDARAVONE, ON FREE RADICAL REACTIONS: RELATED SIGNAL) | MunakataAkira ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経外科 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS204-S210(2010.07) | 15-デオキシ- Δ 12,14-プロstaglandin J2は直接結合することにより核TDP-43蛋白のプロファイルを調節する TDP-43蛋白症の病態との関係(15-DEOXY- Δ 12,14-PROSTAGLANDIN J2 MODIFIES PROFILES OF NUCLEAR TDP-43 PROTEIN THROUGH ITS DIRECT BINDING) | ZhangHai-Xin ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経病理学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS215-S223(2010.07) | 非毒性変異ブドウ球菌エンテロトキシンAによる免疫はスンクスにおけるエンテロトキシン誘発性嘔吐を抑制する(IMMUNIZATION WITH NONTOXIC MUTANT STAPHYLOCOCCAL ENTEROTOXIN A PROTECTS AGAINST ENTEROTOXIN-INDUCED EMESIS IN HOUSE MUSK) | HuDong-Liang ほか | 弘前大学 医学研究科感染生体防御学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS224-S231(2010.07) | Listeria monocytogenes由来の病原因子p60により自然免疫がアップレギュレートされる(INNATE IMMUNITY IS UP-REGULATED BY A VIRULENCE FACTOR p60 DERIVED FROM LISTERIA MONOCYTOGENES)(英語) | SashinamiHiroshi ほか | 弘前大学 医学研究科感染生体防御学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS232-S237(2010.07) | マウスのペプチドグリカン認識蛋白(PGRP)-S 細菌感染における役割(MOUSE PEPTIDOGLYCAN RECOGNITION PROTEIN (PGRP)-S: THE ROLE IN BACTERIAL INFECTION)(英語) | OsanaiArihiro ほか | 弘前大学 医学研究科感染生体防御学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS238-S244(2010.07) | Staphylococcus aureus感染に対するclumping factor A免疫の防御効果におけるIL-17の役割(THE ROLE OF INTERLEUKIN-17 IN THE PROTECTIVE EFFECT OF AN IMMUNIZATION WITH CLUMPING FACTOR A AGAINST STAPHYLOCOCCUS AUREUS INFECTION)(英語) | NaritaKouji ほか | 弘前大学 医学研究科感染生体防御学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS245-S251(2010.07) | ラット脳における非ヘム三価鉄および二価鉄の細胞局在および細胞下局在 灌流Perls法および灌流Turnbull法を用いた光学顕微鏡および電子顕微鏡による検討(CELLULAR AND SUBCELLULAR LOCALIZATIONS OF NONHEME FERRIC AND FERROUS IRON IN THE RAT BRAIN: A LIGHT | MeguroReiko ほか | 弘前大学 医学研究科神経解剖・細胞組織学 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---------------------|---------------------------|
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS252-S254(2010.07) | アンジオテンシン変換酵素阻害剤カプトプリルを投与したラットの脳におけるペプチドの変化 (ALTERATION OF PEPTIDES IN RAT BRAIN TREATED WITH ANGIOTENSIN-CONVERTING ENZYME INHIBITOR, CAPTOPRIL)(英語) | MaruyamaAyumi ほか | 弘前大学 医学研究科薬剤学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS255-S261(2010.07) | ストレプトゾトシン誘発性糖尿病性神経障害の後根神経節細胞におけるP2X2およびP2X3受容体の関与(ININVOLVEMENT OF P2X2 AND P2X3 RECEPTORS IN DORSAL ROOT GANGLION NEURONS OF STREPTOZOTOCIN-INDUCED DIABETIC NEUROPATHY)(英語) | MigitaKeisuke ほか | 弘前大学 医学研究科脳神経生理学 |
| 弘前医学(0439-1721)61 巻Suppl. PageS43-S52(2010.07) | 血管内皮増殖因子(VEGF)発現は塩基性ヘリックスループヘリックス(bHLH)転写因子DEC2によりネガティブ制御される(VASCULAR ENDOTHELIAL GROWTH FACTOR(VEGF) EXPRESSION IS NEGATIVELY REGULATED BY BASIC-HELIX-LOOP-HELIX (BHLH) TRANSCRIPTION | KijimaHiroshi ほか | 弘前大学 医学部 病理生命科学 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page1-6(2011.03) | 中波長紫外線(UVB)はヒト表皮細胞のRETINOIC ACID-INDUCIBLE GENE-I発現誘導を抑制する | 木村一之 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科皮膚科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page18-26(2011.03) | p38 MAP kinaseの抑制はマウスの圧負荷による病的心肥大を軽減し心機能低下を抑制する (INHIBITION OF P38 MAP KINASE ATTENUATES LEFT VENTRICULAR HYPERTROPHY AND INHIBITS PROGRESSION OF SYSTOLIC DYSFUNCTION ON PRESSURE- | 花田賢二 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page27-33(2011.03) | 日本人冠攣縮性狭心症患者におけるABCC9遺伝子変異の有無の解析(MUTATION ANALYSIS OF ABCC9 GENE IN JAPANESE PATIENTS WITH CORONARY SPASTIC ANGINA)(英語) | 渋谷修司 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科循環呼吸腎臓内科学 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page34-43(2011.03) | 一般住民における睡眠障害と生活習慣の関連について | 西村美八 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page44-55(2011.03) | 女性アスリートにおける栄養摂取と体脂肪の蓄積状況が性ホルモン及び好中球機能に及ぼす影響について | 瀬尾京子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page56-71(2011.03) | MDMAの類縁体であるmethyloneの行動毒性および依存性に対する影響について(BEHAVIORAL AND REWARDING EFFECTS OF METHYLONE, AN ANALOG OF MDMA IN MICE)(英語) | 宮澤真紀 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page7-17(2011.03) | 腸管内メタン産生に影響を与える腸内細菌叢検索(EFFECT OF HUMAN GUT MICROBIOTA ON THE METHANE PRODUCTION)(英語) | 長谷部達也 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器外科学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page72-79(2011.03) | 分娩と閉経が動脈硬化に及ぼす影響 | 西野加代子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 弘前医学(0439-1721)62 巻1号 Page80-85(2011.03) | S-1によるワーファリン抗凝固作用の増強 (ENHANCEMENT OF WARFARIN ANTICOAGULANT ACTIVITY BY S-1)(英語) | 照井一史 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科薬剤学講座 |
| 産科と婦人科(0386-9792)77巻9号 Page1111-1114(2010.09) | 婦人科悪性腫瘍手術の骨盤後腹膜処理 瘢着防止を目的とした瘻着防止吸収性バリア(セプラフィルム)の使用経験 | 二神真行 ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科 |
| 産婦人科の実際(0558-4728)59巻9号 Page1419-1426(2010.09) | 経皮吸収エストラジオールゲル剤を用いた凍結胚移植 | 福井淳史 ほか | 弘前大学 医学部 産科婦人科 |
| 耳鼻咽喉科展望(0386-9687)53巻補冊1 Page12-13(2010.06) | 弘前大学における過去10年間の中咽頭癌症例の治療成績 | 白崎隆 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科耳鼻咽喉科学講座 |
| 手術(0037-4423)64巻13号 Page1993-1997(2010.12) | 上部消化管穿孔症例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|----------|--------------------------|
| 手術(0037-4423)64巻5号 Page669-672(2010.05) | 75歳以上の高齢者における胃十二指腸潰瘍穿孔症例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 手術(0037-4423)64巻7号 Page1057-1060(2010.06) | 肝転移を伴わずに肺転移を来たした横行結腸sm癌の1例 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| 手術(0037-4423)65巻2号 Page245-247(2011.02) | 乳癌肺転移切除例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| 小児内科(0385-6305)42巻12号 Page2009-2012(2010.12) | CKD stage 3以上の進行腎不全状態で見出された3小児例 | 八木弘子 ほか | 弘前大学医学部附属病院 小児科 |
| 小児内科(0385-6305)42巻7号 Page1224-1228(2010.07) | 抗TNF- α 製剤からtocilizumabへの変更が奏効した難治性若年性特発性関節炎の3例 | 相澤知美 ほか | 弘前大学 医学部小児科 |
| 消化と吸収(0389-3626)32巻2号 Page189-195(2010.07) | 長期にわたる植物ステロールとエネルギー制限により低栄養を呈した一例(第2報) | 三上恵理 ほか | 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 |
| 消化と吸収(0389-3626)32巻2号 Page196-200(2010.07) | 食事栄養価の実測値と食品成分表値の比較検討(第2報) 脂質コントロール食 | 三上恵理 ほか | 弘前大学医学部附属病院 栄養管理部 |
| 心臓(0586-4488)42巻7号 Page917-918(2010.07) | 妊娠28週の妊婦に発症した重症肺塞栓症の1例 | 渡辺健一 ほか | 弘前大学 医学部胸部心臓血管外科 |
| 心臓(0586-4488)42巻7号 Page948-949(2010.07) | 悪性腫瘍の化学療法中に発症した静脈血栓症例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 胸部心臓血管外科 |
| 心臓(0586-4488)42巻Suppl.4 Page190-194(2010.12) | 運動後のT波オーバーセンシングによるICD不適切作動を認めたBrugada症候群の1例 | 大和田真玄 ほか | 弘前大学 医学部循環器内科 |
| 新薬と臨床(0559-8672)60巻3号 Page431-457(2011.03) | てんかん患者を対象としたラモトリギン錠の使用成績調査 中間解析結果 | 兼子直 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科神経精神医学講座 |
| 診断病理(1345-6431)27巻2号 Page100-104(2010.04) | 生体肝移植術が施行された成人発症II型シトルリン血症の1例 | 羽賀敏博 ほか | 弘前大学 医学部医学科 |
| 診断病理(1345-6431)27巻2号 Page115-118(2010.04) | 甲状腺混合性髓様・滤胞細胞癌の1例 | 赤坂治枝 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科病理生命科学講座 |
| 診断病理(1345-6431)27巻3号 Page229-232(2010.07) | 脾臓原発の炎症性偽腫瘍型滤胞樹状細胞肉腫例 | 高橋一徳 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科分子病態病理学講座 |
| 診断病理(1345-6431)28巻1号 Page25-29(2011.01) | 骨・軟骨形成を伴う膀胱癌肉腫の1例 | 服部真也 ほか | 弘前大学 医学部医学科 |
| 診断病理(1345-6431)28巻1号 Page30-34(2011.01) | 尿管原発のMALTリンパ腫の1例 | 尾林紗矢佳 ほか | 弘前大学 医学部医学科 |
| 腎と透析(0385-2156)69巻3号 Page379-382(2010.09) | 長期タクロリムス療法の有用性と安全性を確認し得た難治性巢状分節性糸球体硬化症の1例 | 伊藤裕也 ほか | 弘前大学医学部附属病院 小児科 |
| 整形外科(0030-5901)61巻11号 Page1211-1214(2010.10) | 骨浸潤をきたしたchronic expanding hematomaの1例 | 柳澤道朗 ほか | 弘前大学 整形外科 |
| 青森県スポーツ医学研究会誌(0918-0257)19巻Page1-4(2010.12) | 小中学生の腰痛 スポーツ活動との関連 | 山本祐司 ほか | 弘前大学 大学院医学研究科整形外科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|------------------|--------------------------|
| 青森県スポーツ医学研究会誌(0918-0257)19巻 Page23-26(2010.12) | 肩甲部痛を主訴とした第1肋骨疲労骨折の2例 | 佐々木規博 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 青森県スポーツ医学研究会誌(0918-0257)19巻 Page27-29(2010.12) | テニス選手に発生した第2中手骨疲労骨折の1例 | 木村由佳 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 青森県スポーツ医学研究会誌(0918-0257)19巻 Page9-12(2010.12) | 学校体育における膝前十字靭帯損傷の受傷状況とその特徴 | 佐々木静 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 青森県立中央病院医誌 (0387-0138)55巻3号 Page99-102(2010.09) | 2002~2009年における弘前大学病院での Helicobacter pylori根絶の傾向(Trends of Helicobacter pylori eradication at Hirosaki University Hospital during 2002-2009)(英語) | IinoChikara ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器血液内科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻1号 Page15-26(2010.10) | 卵管癌肉腫 | 横田恵 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻2号 Page105-110(2011.03) | 不妊症症例に対する経腔腹腔鏡の有用性 | 福井淳 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻2号 Page118-124(2011.03) | 婦人科手術における単孔式腹腔鏡下手術の導入 | 福原理恵 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻2号 Page125-130(2011.03) | 初経前の女児に発症した卵巣粘液性腺癌の一例 | 松下容子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻2号 Page153-157(2011.03) | 帝王切開術後の循環動態管理に苦慮したFontan手術後妊娠の1例 | 松下容子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 青森県臨床産婦人科医会誌(0913-8307)25巻2号 Page73-77(2011.03) | 子宮体癌の新臨床進行期分類は予後を正確に反映するか? | 横山良仁 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 体外循環技術(0912-2664)38巻1号 Page34-37(2011.03) | Bridge to Recoveryを目的とした長期間ECMOの経験 | 後藤武 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 MEセンター |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻1号 Page11-20(2010.10) | プロサッカー選手における2時間のトレーニングが身体的、精神的疲労の状態に与える効果(Effects of 2 Hour Training on the Appearance of Physical and Mental Fatigue in Professional Soccer) | SudaYoshimasa ほか | 弘前大学 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻1号 Page21-30(2010.10) | 女子大学長距離陸上選手のオフシーズンの身体的・精神的コンディションの特性と運動後の変化について 安静時及び運動負荷後の包括的メディカルチェックの結果から | 山本博 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page102-104(2010.12) | 腰椎可動域に影響を与える因子の解析 多変量解析から | 岩崎宏貴 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page105-108(2010.12) | 生体内微量元素が好中球の活性酸素種产生に及ぼす影響 | 伊藤治幸 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page109-113(2010.12) | 農村部在住女性の日常的な身体活動量が好中球機能に及ぼす影響 | 岩根かほり ほか | 弘前大学 医学部 社会医学 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page114-116(2010.12) | 口腔内環境が好中球機能に及ぼす影響 | 北川直子 ほか | 弘前大学 医学部 社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page117-119(2010.12) | 呼気水素が好中球機能に及ぼす影響 | 高橋一平 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page120-123(2010.12) | 閉経および分娩が酸化ストレスに与える影響について | 熊谷貴子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|----------|--------------------------|
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page132-136(2010.12) | Helicobacter pylori感染および萎縮性胃炎が血清中微量元素濃度に及ぼす影響について | 倉内静香 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page137-139(2010.12) | 腸内細菌による肥満への影響 | 渡邊清誉 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page140-143(2010.12) | 一般住民の腸管内メタン産生と腸内細菌に関する研究 | 長谷部達也 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page147-151(2010.12) | 女性における骨粗鬆症の危険因子に関する検討 | 澄川幸志 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page152-155(2010.12) | 小中学生において、運動習慣が体格に及ぼす影響について | 檀上和真 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page156-160(2010.12) | 成長期の体格と生活習慣の変化が骨密度に及ぼす影響 | 小枝周平 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page161-163(2010.12) | 成長期における肥満が血圧および動脈硬化に及ぼす影響 | 工藤うみ ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page87-91(2010.12) | メタボリックシンドロームと睡眠の関係 | 大久保礼由 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page92-95(2010.12) | 上腕足首脈波伝播速度(baPWV)と動脈硬化関連因子の関係 | 岩間孝暢 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page96-98(2010.12) | 健常者における呼気中一酸化炭素濃度と生活習慣の関連について | 津谷亮佑 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 体力・栄養・免疫学雑誌 (1341-0865)20巻2号 Page99-101(2010.12) | 変形性膝関節症とMetabolic Syndromeの関係 | 井上亮 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科社会医学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)22巻2号 Page136-142(2010.06) | Opening wedge高位脛骨骨切り術の短期治療成績と成績関連因子 | 山本祐司 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)22巻2号 Page198-202(2010.06) | 二重束前十字靱帯再建術のMRIによる骨孔位置の検討 ナビゲーション使用と非使用再建での比較 | 前田周吾 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)22巻4号 Page538-543(2010.12) | 高度歩行障害を認めた転移性胸椎腫瘍患者の術後歩行状態 | 沼沢拓也 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)22巻4号 Page556-559(2010.12) | VerSys Taperシステムを用いたTHAの短期成績 | 佐々木規博 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)23巻1号 Page32-38(2011.03) | 骨粗鬆症性椎体圧潰手術的治療例における患者および家族の満足度調査 | 和田簡一郎 ほか | 弘前大学 整形外科 |
| 東日本整形災害外科学会雑誌(1342-7784)23巻1号 Page49-57(2011.03) | 当科における膝後十字靱帯損傷治療の検討 | 佐々木規博 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 東北整形災害外科学会雑誌(1348-8694)54巻1号 Page35-38(2010.06) | 頸胸移行部脊柱管内囊腫の1例 | 工藤整 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |
| 東北整形災害外科学会雑誌(1348-8694)54巻1号 Page84-90(2010.06) | 股関節人工骨頭置換術後に金属アレルギーを発症した1例 | 加藤幸三 ほか | 弘前大学 整形外科 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------|---|
| 東北膝関節研究会会誌 (0917-5164)20巻 Page53-56(2010.07) | 形成的部分切除を行った内側円板状半月の1例 | 千葉大輔 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 頭頸部癌(1349-5747)36 巻1号 Page97- 100(2010.04) | 頭頸部癌に対するCDGP/5-FUを用いた同時併用 放射線化学療法の検討 | 阿部尚央 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科耳鼻咽 喉科学講座 |
| 頭頸部癌(1349-5747)36 巻3号 Page297- 302(2010.10) | 口腔癌に対するdocetaxelと nedaplatinを用いた超 選択的動注化学放射線治療の臨床的検討 | 小林恒 ほか | 弘前大学 医学部 歯科口腔外科学講 座 |
| 日本エンドometriオーシス 学会会誌31巻 Page33- 38(2010.07) | 子宮内膜症の腹腔鏡手術 合併症を回避するため に卵巣予備能の維持 卵巣内膜症性囊胞の温存 手術における卵胞損失について | 藤井俊策 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦 人科学講座 |
| 日本外科系連合学会誌 (0385-7883)35巻2号 Page139-143(2010.04) | 右側大動脈弓を伴った左肺癌の1例 | 境雄大 | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心 臓血管外科学講座 |
| 日本眼科学会雑誌 (0029-0203)114巻8号 Page687-691(2010.08) | 真菌性眼窩先端症候群との鑑別に苦慮した肥厚 性硬膜炎の1例 | 鈴木香 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| 日本胸部臨床(0385- 3667)69巻11号 Page1073-1078(2010.11) | EBウイルス陽性T細胞型膿胸関連リンパ腫の1例 | 鈴木真理子 ほか | 弘前大学 医学部附 属病院 卒後臨床 研修センター |
| 日本胸部臨床(0385- 3667)69巻12号 Page1160-1164(2010.12) | 咽喉頭癌の治療後に外科的治療を行った原発性 肺癌症例の検討 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心 臓血管外科学講座 |
| 日本口腔腫瘍学会誌 (0915-5988)22巻3号 Page89-93(2010.09) | 化学放射線療法後の救済手術 口腔咽頭癌に対 する化学放射線同時併用療法後の救済手術に関 する検討 | 小林恒 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科医科学 専攻歯科口腔外科 学講座 |
| 日本口腔腫瘍学会誌 (0915-5988)22巻4号 Page165-172(2010.12) | 頸部郭清術後の頸部再発に対し選択的動注化学 放射線療法が奏功した口腔癌の2例 | 小林恒 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科医科学 専攻歯科口腔外科 学講座 |
| 日本手外科学会雑誌 (2185-4092)26巻4号 Page323-326(2010.07) | 陳旧性橈骨頭脱臼に対する創外固定器を用いた 治療 | 岩崎弘英 ほか | 弘前大学 医学部 整形外科学教室 |
| 日本手外科学会雑誌 (2185-4092)26巻5号 Page441-444(2010.09) | 橈側列形成不全に対する新しい手関節変形矯正・ 安定化手術 Carpal Ulnarization | 湯川昌広 ほか | 弘前大学 医学部 整形外科 |
| 日本手外科学会雑誌 (2185-4092)27巻2号 Page101-104(2010.11) | 当科における変形性遠位橈尺関節症に対する Sauve-Kapandji法の臨床成績 | 湯川昌広 ほか | 弘前大学 医学部 整形外科 |
| 日本手外科学会雑誌 (2185-4092)27巻4号 Page447-451(2011.01) | キーンベック病に対する橈骨背側からの血管柄付 き骨移植術 | 岩崎弘英 ほか | 弘前大学 医学部 整形外科学教室 |
| 日本手外科学会雑誌 (2185-4092)27巻6号 Page819-822(2011.03) | 母指形成不全症に対するHueber-Littler法の術後 成績 | 鈴木雅博 ほか | 弘前大学 医学部附 属病院 整形外科 |
| 日本消化器外科学会雑 誌(0386-9768)43巻10号 Page1037-1041(2010.10) | Galectin-3低発現により高悪性群と予測された肺 solid-pseudopapillary tumor異時性肝転移の1例 | 諸橋一 ほか | 弘前大学 医学部 消化器・乳腺・甲状 腺外科 |
| 日本消化器病学会雑誌 (0446-6586)107巻8号 Page1312-1318(2010.08) | 繰り返す肝障害が診断の契機となった慢性活動性 EBウイルス感染症の1成人例 | 遠藤哲 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科消化器 血液内科学 |
| 日本人工関節学会誌 (1345-7608)40巻 Page124-125(2010.12) | 大腿骨骨折を伴う人工股関節再置換術に対する MX-2000の使用経験 | 三井博正 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |
| 日本人工関節学会誌 (1345-7608)40巻 Page360-361(2010.12) | VerSys Fiber Metal Taperシステムを用いたTHA 大 腿骨側のレントゲン成績の詳細 | 中村吉秀 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外 科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|----------|---------------------------|
| 日本人工関節学会誌 (1345-7608)40巻 Page416-417(2010.12) | 50才以下の末期股関節症に対する人工股関節置換術の術後成績 | 大石裕 誉 ほか | 弘前大学 大学院 整形外科 |
| 日本婦人科腫瘍学会雑誌 (1347-8559)28巻4号 Page539-547(2010.10) | 広汎子宮全摘術後に同時化学放射線療法を施行した、子宮頸部に発生した小細胞癌の2例 | 二神真行 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科産科婦人科学講座 |
| 日本放射線技術学会東北部会雑誌20号 Page124-125(2011.02) | FPDにおける胸部撮影条件の検討 | 鈴木将志 ほか | 弘前大学医学部附属病院 放射線部 |
| 日本放射線技術学会東北部会雑誌20号 Page188-189(2011.02) | リニアック解体時における放射化物の測定 | 清野守央 ほか | 弘前大学医学部附属病院 放射線部 |
| 日本放射線技術学会東北部会雑誌20号 Page194-195(2011.02) | 頭部用Coilの基礎的検討 | 大谷雄彦 ほか | 弘前大学医学部附属病院 放射線部 |
| 日本放射線技術学会東北部会雑誌20号 Page196-197(2011.02) | 1.5T頭頸部用コイルのSNR、感度分布の測定 | 大湯和彦 ほか | 弘前大学医学部附属病院 放射線部 |
| 日本臨床スポーツ医学 会誌(1346-4159)18巻2号 Page181-187(2010.04) | エビデンスに基づく前十字靱帯損傷の治療 ナビゲーションによる前十字靱帯損傷膝および再建膝の評価 | 石橋恭之 ほか | 弘前大学 医学部 整形外科 |
| 日本臨床スポーツ医学 会誌(1346-4159)19巻1号 Page43-49(2011.01) | スポーツにおける疲労骨折の実態 | 能見修也 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)71巻5号 Page1154-1158(2010.05) | 胸壁に発生した脱分化型脂肪肉腫の1例 | 境雄大 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科胸部心臓血管外科学講座 |
| 日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)71巻5号 Page1299-1304(2010.05) | アルコール性慢性脾炎を背景に生じたと考えられた特発性脾破裂の1例 | 諸橋一 ほか | 弘前大学 医学部 消化器・乳腺・甲状腺外科 |
| 日本臨床麻酔学会誌 (0285-4945)30巻7号 Page1059-1064(2010.11) | 想定外のマスク換気困難を呈した小児Treacher Collins症候群の気道管理 | 丹羽英智 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科学講座 |
| 脳卒中の外科(0914-5508)38巻5号 Page318-322(2010.09) | 【脳動脈解離】出血性椎骨脳底動脈領域の動脈解離の自然歴 保存的治療症例の長期経過観察による解析 | 中野高広 ほか | 弘前大学 医学部 脳神経外科 |
| 脳卒中の外科(0914-5508)39巻2号 Page75-83(2011.03) | 【未破裂脳動脈瘤の手術】整容に配慮した未破裂脳動脈瘤手術 | 大熊洋揮 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科脳神経外科 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)56巻10号 Page551-557(2010.10) | 膀胱癌における尿テロメラーゼ活性簡易測定法の有用性 | 岩渕郁哉 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)56巻10号 Page565-567(2010.10) | 血液透析導入時に発見され腹腔鏡下に摘出した褐色細胞腫の1例 | 杉山尚樹 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)56巻10号 Page581-583(2010.10) | 骨盤腔に発生した巨大神経鞘腫の1例 | 鈴木裕一朗 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)56巻11号 Page621-623(2010.11) | 副腎腫瘍と鑑別が困難であった石灰化を伴う後腹膜神経節神経腫の1例 | 岡本哲平 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 泌尿器科紀要(0018-1994)57巻2号 Page71-76(2011.02) | ナフトピジル抵抗性の夜間頻尿を有する前立腺肥大症に対するプロピペリン併用の効果 | 神村典孝 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科泌尿器科学講座 |
| 皮膚病診療(0387-7531)32巻12号 Page1311-1314(2010.12) | 【細菌感染症および関連疾患】臨床例 TSST-1産生MRSAによるtoxic shock syndrome | 金子高英 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科皮膚科学講座 |

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|----------|-------------------------|
| 皮膚病診療(0387-7531)32巻6号 Page631-634(2010.06) | 【いぼをめぐって】爪部のverruca with bowenoid dysplasia | 中島康爾 ほか | 弘前大学 医学部 皮膚科学教室 |
| 皮膚病診療(0387-7531)32巻7号 Page781-784(2010.07) | 【メラノーマ】臨床例 自然消褪傾向を示した悪性黒色腫 | 赤坂英二郎 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科皮膚科学講座) |
| 法医学の実際と研究(0289-0755)53号 Page141-147(2010.11) | 型的二重結合反応法および凝集阻止反応法による乳児期のABH型抗原活性について | 北武 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科法医学講座 |
| 麻酔(0021-4892)59巻10号 Page1315-1317(2010.10) | 上下顎形成術での気管チューブ損傷にAirway Scopeを用いた再挿管が有効であった1症例 | 中井希紫子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科学講座 |
| 麻酔(0021-4892)59巻12号 Page1510-1513(2010.12) | プロポフォール投与中止4.5時間後血漿濃度が4.4 μg·ml ⁻¹ と高濃度であった覚醒遅延の1症例 | 川口陽子 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科麻酔科学講座 |
| 麻酔(0021-4892)59巻8号 Page1004-1006(2010.08) | 子宮粘膜下筋腫の経子宮頸管的切除術中に生理食塩液が大量吸収され肺水腫となった1症例 | 高田典和 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 麻酔科 |
| ○ 麻酔(0021-4892)60巻2号 Page208-210(2011.02) | 100歳心不全症例の全身麻酔管理経験 | 川口陽子 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 麻酔科 |
| 理学療法研究(0289-4211)28号 Page27-32(2011.03) | 二重課題が若年者及び高齢者の歩行動作に与える影響 Toe clearanceに着目して | 高田ゆみ子 ほか | 弘前大学 医学部附属病院 リハビリテーション部 |
| 臨床眼科(0370-5579)64巻9号 Page1619-1624(2010.09) | 駆逐性出血に対する待機硝子体手術 | 鈴木香 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| ○ 臨床眼科(0370-5579)65巻1号 Page47-52(2011.01) | 外傷後に高度な滲出性網膜剥離を呈した小児原田病の1例 | 工藤朝香 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学 |
| 臨床眼科(0370-5579)65巻1号 Page91-95(2011.01) | 硝子体手術を行って視神経乳頭マッサージを試みた網膜中心動脈閉塞症の1例 | 伊藤忠 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科眼科学講座 |
| ○ 臨床心臓電気生理(0285-1652)33巻 Page107-115(2010.05) | 細動様伝導を呈したリエントリー性心房頻拍 | 伊藤太平 ほか | 弘前大学 医学部 循環器・腎臓内科 |
| 臨床整形外科(0557-0433)45巻11号 Page1019-1023(2010.11) | 高齢者の第4腰椎変性すべり症に対する低侵襲腰椎棘間切除式椎弓間除圧術の2年以上成績 | 沼沢拓也 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 臨床整形外科(0557-0433)45巻4号 Page367-371(2010.04) | 小骨発生の骨巨細胞腫の臨床病理学的検討 | 柳澤道朗 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科 |
| 臨床整形外科(0557-0433)45巻8号 Page761-764(2010.08) | 頸胸移行部に発生した黄色靭帯内血腫の1例 | 熊谷玄太郎 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科整形外科学講座 |
| 臨床放射線(0009-9252)55巻12号 Page1646-1653(2010.11) | SPECT/CT複合機による皮膚悪性腫瘍のセンチネルリンパ節シンチグラフィの検討 | 三浦弘行 ほか | 弘前大学 医学部 放射線科学講座 |
| 臨床放射線(0009-9252)55巻5号 Page681-686(2010.05) | 体幹部血管病変に対する新たな離脱式コイル(電気式、水圧式)の有用性 | 掛端伸也 ほか | 弘前大学 大学院 放射線科学講座 |
| 臨床放射線(0009-9252)55巻9号 Page1157-1162(2010.09) | 大動脈解離に対して大動脈真腔内メタリックステント留置術を施行した3例 | 対馬史泰 ほか | 弘前大学 大学院 医学研究科放射線科学講座 |

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

小計18

合計201

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | |
|---------|-----------|
| 管理責任者氏名 | 病院長 花田 勝美 |
| 管理担当者氏名 | 事務部長 千葉 博 |

| | | 保管場所 | 管理方法 |
|--|---|---------|---|
| 診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 病歴部 | | <p>①カルテ等の紙ベースの診療記録 入院：1患者1カルテ方式 外来：平成19年7月以降の受診歴あり →1患者1カルテファイル方式</p> <p>②エックス線写真 入院：1患者1フィルム方式 平成21年6月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式 外来：1患者1診療科フィルム方式 平成20年1月以降撮影分から、原則的に画像データ参照方式</p> <p>③その他（病院日誌等） ファイル形式（紙媒体）</p> |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | ファイル形式（紙媒体） |
| | 高度の医療の提供の実績 | 経営企画課 | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 経営企画課 | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 | |
| | 閲覧実績 | 総務課 | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課 | |
| 第規一則号第一に掲げること十體一制第一の確項保各の号状況第九 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療安全推進室 | ファイル形式（紙媒体） |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療安全推進室 | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療安全推進室 | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 | 医療安全推進室 | |
| | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 総務課 | |

| | | |
|----------|------------------------------------|-----|
| 条の二十三第一項 | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 総務課 |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 総務課 |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医事課 |



| | | 保管場所 | 分類方法 |
|------------------------------|--|--|--------------|
| 病院の管理 及び運営に 関する諸記 録 | 規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況 | 院内感染のための指 針の策定状況 | 感染制御センタ ー |
| | | 院内感染対策のため の委員会の開催状況 | 感染制御センタ ー |
| | | 従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況 | 感染制御センタ ー |
| | | 感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善の方策の 実施状況 | 感染制御センタ ー |
| | | 医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況 | 総務課 |
| | | 従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善の方策の 実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況 | 総務課 |
| | | 従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況 | MEセンター |
| | | 医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況 | MEセンター |
| | | 医療機器の安全使用 のために必要な情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善の方策の 実施状況 | MEセンター |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|-----------|
| 閲覧責任者氏名 | 病院長 花田 勝美 |
| 閲覧担当者氏名 | 事務部長 千葉 博 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 病院小会議室 |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| 前 年 度 の 総 閲 覧 件 数 | 延 | 0 件 |
|-------------------|-------------|-------|
| 閲 覧 者 別 | 医 師 | 延 0 件 |
| | 歯 科 医 師 | 延 0 件 |
| | 国 | 延 0 件 |
| | 地 方 公 共 団 体 | 延 0 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| 紹 介 率 | 88.7 % | 算 定 期 間 | 平成22年4月1日～平成23年3月31日 |
|---------------------------|--------|---------|----------------------|
| 算 A : 紹 介 患 者 の 数 | | | 10,425人 |
| 出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | | | 7,206人 |
| 根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数 | | | 1,058人 |
| 拠 D : 初 診 の 患 者 の 数 | | | 13,857人 |

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をDとBの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

| | |
|--|-------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： ① 医療安全管理に関する基本的考え方 ② 医療安全管理のための組織体制 ③ 院内報告体制 ④ 安全な医療を提供するための職員研修 ⑤ 安全確保を目的とした改善のための要点 ⑥ 医療事故発生時の対応 ⑦ 医療従事者と患者様との間の情報の共有に関する基本方針 ⑧ 患者様からの相談への対応に関する基本方針 ⑨ その他医療安全推進の要点 | |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 11回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： ① 医療事故予防・防止に関する情報収集及び対策の検討 ② 医療事故防止マニュアルの作成 ③ 医療事故予防・防止の教育、研修の企画、立案及び実施 ④ 医療事故の調査・報告、原因分析及びその対策 ⑤ 医事紛争の予防・防止及びその対策 ⑥ 医療事故発生時の原因分析、改善策立案・実施、職員への周知 ⑦ 委員会で立案された改善策の実施状況の調査・見直し | |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 8回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： ① 医療安全管理マニュアルポケット版説明会 ② 弘前リスクマネジメントセミナー「弘前大学医学部附属病院における院内暴言・暴力の実際とその対応」 ③ BLS講習会 ④ リスクマネジメント講習会「自殺未遂者へ対応」「チーム医療におけるノンテクニカルスキルの重要性」 ⑤ リスクマネジメント講演会「Autopsy imaging(Ai)死後画像診断の現状と問題点」 ⑥ 医療安全に関する研修会「医薬品安全管理および麻薬管理について」 ⑦ DVD上映会「ファクターズ医療安全とヒューマンファクターズ」「SBAR」 ⑧ 医療安全DVD研修会 | |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有)・無)・ その他の改善の方策の主な内容： ① 医療事故発生時、安全管理委員会への報告。 ② 医療事故の事例収集・分析により、院内での問題点を把握し、改善策の企画立案及び評価の上、情報を共有。 ③ 重大な医療事故発生時の管理者への報告。 | |

| | |
|---|-------------|
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 有 (3名) ・無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 有 (1名) ・無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 有 ・無 |
| <p>・ 所属職員： 専任（ 4 ）名 兼任（ 8 ）名 ・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成及び保存並びに委員会の庶務。 ② 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認並びに指導。 ③ 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況の確認並びに指導。 ④ 事故等の原因究明が適切に実施されているかの確認並びに指導。 ⑤ 医療安全に係る連絡調整。 ⑥ その他医療安全対策の推進。 | |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 有 ・無 |

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|--------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | (有)・無 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容： ① 院内感染対策の基本的考え方 ② 院内感染対策のための組織体制 ③ 院内感染対策のための職員研修 ④ 院内感染発生状況の報告体制 ⑤ 院内感染発生時の対応 ⑥ 患者様等に対する院内感染対策のための指針閲覧に関すること ⑦ 器材の滅菌・消毒・洗浄 ⑧ その他院内感染対策推進のための基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年 11 回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容： ① 院内感染防止対策の検討 ② 院内感染防止マニュアルの作成 ③ 院内感染防止の教育、研修の実施 ④ 院内感染発生時の周知体制 ⑤ 院内感染発生時の原因分析、改善策立案・実施、職員への周知 ⑥ 委員会で立案された改善策の実施状況の調査・見直し | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年 8 回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： ① 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策 ② 院内感染対策に対する意識向上を目的とした内容 | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 ((有)・無)・ その他の改善の方策の主な内容： ① 院内感染の発生状況を把握するため、院内での感染症の発生動向の情報を共有。 ② 重大な院内感染発生時、地域の専門家等に相談が行われる体制を確保。 ③ 「院内感染対策のための指針」に即した院内感染対策マニュアルを整備。 | |

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | (有)・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年2回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">①医薬品の有効性・安全性・使用方法について②医薬品安全管理手順書について③医薬品による副作用等が発生した場合の対応について | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">①医薬品採用・購入②医薬品の管理全般③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関すること④患者に対する与薬や服薬指導に関すること⑤医薬品情報の収集・管理・提供⑥他施設との連携 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">①医薬品安全管理責任者に対して、医薬品の添付文書情報のほか、医薬品製造販売業者、行政機関、学術紙等からの情報を広く収集し管理させる②得られた情報のうち必要なものは職員に迅速かつ確実に周知徹底を図る | |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|-------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | (有)・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年23回 |
| ・研修の主な内容 ①医療機器の有効性・安全性 ②医療機器の使用方法 ③医療機器の保守点検 ④医療機器不具合発生時等の対応 ⑤医療機器使用に関して特に法令上遵守すべき事項 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| ○ ・計画の策定 (有)・無 ・保守点検の主な内容： ・検査部門：各検査機器マニュアルに添付されている、デーリー・ウィークリー及びマンスリーの保守点検表のチェック ・放射線部門：①毎日の始業点検と修業点検、②メーカーによる定期保守点検(放射線治療機器、CT、血管撮影機器の一部)、③耐久時間・消耗部品・過去の故障実績を考慮したスポット点検、④故障初期段階での修理、他部品の点検 ・MEセンター：人工心肺装置、PCPS、IABP、閉鎖式保育器は3カ月に一度、人工呼吸器は機種に応じて、血液浄化装置及び除細動装置は6ヶ月に一度、シリンジポンプ、輸液ポンプは1年に一度定期点検を行っている。安全点検システムMARISで管理している。 | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況 | |
| ○ ・医療機器に係る情報の収集の整備 (有)・無 ・その他の改善の方策の主な内容： ①添付文書等の管理 ②医療機器に係る安全性情報等の収集 ③病院管理者への報告 | |